

①

猫また



猫が年をとり、化け猫になつたもの。尾が二つにわかれる。「徒然草」には、「人を食ふ」とある。

②

川太郎



かわたろう
河童(かっぱ)のこと。水中にほかの動物をひきいれ、その生血をすう。

③

五體面



ごたいめん
五体(頭・両手・両足)が顔と一体化し、胴体がない妖怪。

④

青女坊



あおによぼう
人々を貧乏にする妖怪。女官の姿をしており、青白い顔、充血した赤い目、くろぐるとしたお齒黒、手にもつ扇が特徴。

⑤

ぬつぺらぼう



ぬつぺりとした顔(しまりのない顔)の妖怪。

⑥

ぬらりひよん



ぬらりくらりとしてつかみどころのない妖怪。

⑦

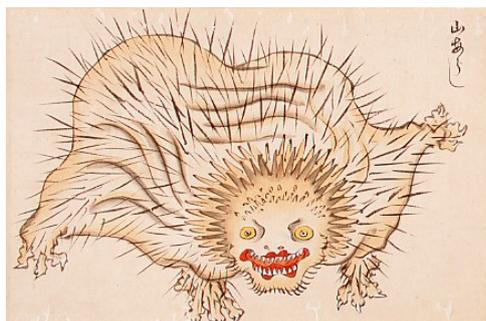
後眼



うしろめ
後頭部に目のある妖怪。

⑧

山あらし



動物の「ヤマアラシ」をモチーフにした妖怪。背から腰にとげのようになつた剛毛を持つ。山の神にうかがいをたてず山で鳥獣をとったりすると、山あらしが崇りをなすという伝説がある。